

PICK UP! 県内コミュニティスポーツクラブの活動

NPO 法人 SCC (鹿児島市) ☎ 099-229-4222

夏休み！小学生かけっこ塾

- 前期:7月22日(月)~26日(金)
- 後期:8月19日(月)~23日(金)

走るのが速くなりたい子どもたちのために、専門の指導者が楽しく正しくかけっこを教えます。



NPO 法人ヨロン SC (与論町) ☎ 0997-97-5001

ヨロンパナウル健康ウォーク

11月24日(日) 9:00~14:00

島の自然や歴史・文化、ふれあいを楽しみながら、10km又は15kmの島の美しいコースをゆったりと歩く大会。



ひわき YOU 遊スポーツクラブ (薩摩川内市) ☎ 070-6590-6546

グラウンド・ゴルフサークル

毎月第1・3土曜日9:30~11:30

一昨年オープンした樋脇グラウンド・ゴルフ場で年齢や体力にかかわらず、さまざまな方が参加できます。



県内54のコミュニティスポーツクラブ一覧や公式サイトへのリンクはコチラ！

鹿児島県内コミュニティスポーツクラブ



地域団体の依頼で親子運動活動にSCCスタッフを派遣



小学校の体育授業で指導するSCCスタッフ



50メートルダッシュ王選手権 H31.3.24 鹿児島県立鴨池補助競技場

スポーツ 鹿児島

今年はインターハイ、来年はかごしま国体・かごしま大会と、スポーツのビッグイベントが続くかごしま。スポーツを「する」「みる」「ささえる」をテーマに県内各地のさまざまな活動をシリーズで紹介します。

VOL.01 スポーツをささえる



親子のふれあいの場にもなる

ライフスタイルに
気軽に楽しむ

SCCが最も力を入れているイベントが、今年で18回を数えた「50メートルダッシュ王選手権」です。この距離を1分以内で走れる人なら誰でも参加が可能。今年も親子対決などに大きな歓声が上がりました。

このほか、SCCでは、地域のさまざまな声を受けて、「小学生かけっこ塾」や「マラソン挑戦講座」「動物の動きを真似る幼児体操」などユニークな活動プログラムを実施しています。

それぞれのライフスタイルに合わせて気軽にスポーツを楽しめるコミュニティスポーツクラブが、皆さんの身近なところでも活動しているかもしれません。あなたも、地元のスポートクラブに参加してみませんか？

ライフスタイルに
気軽に楽しむ

鹿児島市で活動するNPO法人「SCC」(スポーツ・コミュニケーション・サークル)理事長、太田敬介さんは「生涯、豊かな生活を送るためには、地域に根ざした多世代、多様目、多志向のスポーツ活動が不可欠。ものと期待されています。

地域住民が運営し、地元の誰もが日常的にスポーツに親しめる「コミュニティスポーツクラブ」。県内では、平成11年に初のコミュニティスポーツクラブが誕生。現在、30市町村で54のクラブが活動しています。部活動や企業スポーツとは異なり、子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できるスポーツプログラムを提供により、地域の絆を強め、生涯を通じた健康な生活づくりや地域の活性化につながるものと期待されています。

日常のスポーツで
豊かな生活を

「住民自らの手で
身近にスポーツができる環境を」
コミュニティスポーツクラブ

地元になくはない存在になりたい」と語ります。

実業団で陸上の短距離選手だった自身の経験を生かし、陸上競技の指導に携わりながら、運動公園や公共施設などを利用し、ジョギングや健康教室などを開催。1歳から80歳代まで、三世代にわたる会員約780名が汗を流しています。

「学校や会社とは違った環境で日常的にスポーツに親しむことで体だけでなく心もリフレッシュできます」と太田さん。人とのつながりも広がり、地域全体に活力が生まれています。



SCC 理事長 太田 敬介さん

次号の特集は

「スポーツをする」
開幕迫る！
高校総体を目指して

鹿児島 ヒロイン伝
プール嫌いの子どもが
オリンピック選手へ



宮下 純一さん
北京オリンピック
競泳メダリスト
1983年鹿児島市生まれ

宮下純一さんが水泳を始めたのは5歳の頃。プール嫌いを克服するためでしたが、小学3年生の頃から記録が伸び始め、背泳ぎの選手となりました。甲南高校筑波大学へと進み着実に力をつけ、2008年には北京オリンピックに出場。競泳男子100メートル背泳ぎ準決勝でアジア新記録を樹立し、決勝では8位に入賞。同400メートルメドレーリレーでは銅メダルを獲得しました。同年、現役を引退し、現在ではスポーツキャスターとして活動中。今年3月には県外に鹿児島の魅力を発信する薩摩大使に就任しています。